

連打で開幕した Season5

GM杯 Season5 は、4月28日のCool&Heat 前枠で開幕の第1節9試合を開催した。この節は全カードホームチーム（パシフィックライジング・ローテンヘムデン・ディーブワーズ）の2勝1敗の結果で、全カード第3試合がサヨナラゲーム、内2ゲームが延長の末のサヨナラ決着となった。[各カード第3戦をピックアップ] 第1節は打撃陣の好調が見えており、史実のNPB2011年シーズン——「統一球」が生み出した、極端な投高打低——のリーグ平均打率を3ポイント以上超え、2チームが3割に届き、個人でも18名が打率3割超（規定打席数以上）の結果となった。[チーム投打成績、および個人の投打成績上位者→4ページ]



第02号 (2013年05月)

チーム	試合	勝	敗	分	率	差
PR	3	2	1	0	.667	-
RH	3	2	1	0	.667	-
CD	3	2	1	0	.667	-
BS	3	1	2	0	.333	1.0
Ys	3	1	2	0	.333	1.0
Dr	3	1	2	0	.333	1.0

※レギュラーシーズン30試合の上位2チームと勝率5割以上チームがポストシーズン進出

中田 翔 サヨナラのライジングサン 国士無双打

翔さん、ブラボー！パシフィックライジングファンの賞賛の声が函館に木霊した。2点ビハインドの9回裏、それまで打ちあぐんでいた寺原が暴投を機に降板し、変わって登場したブルムストーンズ守護神・馬原を、パシフィックライジンググリーンナップがわずか2球で撃沈。そのとどめとなったのが、中田のレフトへの場外3ラン——まさに国士無双の一発——だった。ヒーローインタビューで中田は「おととい田中(浩康)さんの打球を青木さんにフェンスを登って取られた(注2)から、それができないところへ打ち込みたかった。これからも函館で特大弾をファンにプレゼントしたい」とコメントした。

3回戦 @函館千代台球場

BS	1	0	2	0	0	0	0	0	0				3
PR	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4x			5x

勝 山本一 1勝
負 馬原 1敗
HR 中田 1号
盗塁 青木 1盗塁

(注1) コミッショナ目論見大当たり：この見出しは寿監督がチーム名を発表した時から使おうと考えていたもの。中田あたりが劇的弾を打ってくれればと思ったら、いきなり打ってくれました。もちろん出典は「ムダツモ無き改革」(大和田秀樹・竹書房)です。

(注2) 1回戦の田中浩のセンターフライ裁定について：1回戦4回裏、田中浩の打撃結果：珍プレイ好プレイ表19-14「球場依存でHR8かF8a」について、函館千代台はホームランとなる球場に指定されていないのでセンターフライ(青木がフェンスに登ってのキャッチ)と裁定。これに対し「函館千代台は旭川スタルヒンと同程度の広さだから入るのでは？」と寿監督から意見ありましたが、却下しました。珍プレイ好プレイ表の球場依存結果は気候条件を含んでおり、道内陸の旭川と海辺の函館が風の吹き方まで同じではないことを理由とします。

スリープラトンの綻びを攻める赤シャツ野球

Rotenhemden Baseball

隠れた兄弟決戦(注3)は、最低限の守備固め・リリーフにとどめる傾向のYan 監督のローテンヘムデンが、激しいベンチワークがトレードマークの farlanx 監督率いるソーサリアンズを抑える形となった。7回表のマシガン代走でもき取られた勝ち越し点を内川が8回に左犠飛で取り返したあと、代走に伴う選手交代で繋がらなくなったソーサリアンズ打線を榎田・小嶋で抑えて、10回登板の久本の弱点をつく待球策で自爆を誘い4連続出塁で勝ち越しを決めた。殊勲打を放ったハーパーは「これからしばらく松山を離れる(注4)んで、ファンの皆さんに忘れられないような打撃がしたかった」と残して、東京への飛行機に乗り込んだ。

3回戦 @松山坊っちゃんスタジアム ※延長10回

Ys	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0				3
RH	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1x				4x

勝 小嶋 1勝
 負 久本 1敗
 HR 筒香 1号
 盗塁 川崎 1盗塁 鈴木尚 1盗塁

(注3) 両監督から指摘されたのですが、この2チーム、指名した5クラスタのチームの内4チームが共通(巨人・中日・阪神・ソフトバンク)していたのです。内外野スワップなどのわかりやすい形ではないから気づけなかったよ。(注4) ローテンヘムデンは向こう3節すべてロードゲーム、それも東京(神宮)→函館→千葉(QVC マリン)とビジネスマンの出張張りの転戦となります。対戦相手のソーサリアンズは逆に9連続ホームゲーム。全チーム最初の2節でホーム開幕戦を迎え、前半5節でのホームゲームを最大3カードに抑える日程を組んだところ、どうしても3連続ロード/ホームが発生する結果となってしまいました。でもまあ、今までのGM杯でホームチーム圧倒的有利だったことってほとんどなかったはずだから(え?札幌ドームのお前は妖怪だった?聞こえない聞こえない)、Yan 監督は杞憂だと思っし、farlanx 監督も心しないとダメだよ。

延長負けの借りは延長で返す深き者たち

ディープワンズ

2日連続で泥沼化するのか——非公式統計ながら、過去3シーズンでの延長イニング数が最多の Stawka 監督の初ホームカードの最終日、球場のファンが懸念しはじめた10回に入って時間をかけずに決着をつけた。この試合はドラゴノーズに中村剛の2ランで先制を許すも、3番ブラゼルが2安打1本塁打で2打点を挙げて追いつがる。前日の延長12回のあとにもかかわらず、両軍果敢にリリーフ投手を4人ずつつぎ込んだ勝負は、10回裏二死に鴨志田がコントロールを乱して2連続四球を出した後、「昨日はあのコース打てずに延長にしちゃった」と後に述べた平野が失投を見逃さずに右奥に飛ばして決着。「昨日の二の舞は避けたよ」と歓喜した。

3回戦 @QVC マリンフィールド ※延長10回

Dr	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0				2
CD	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1x				3x

勝 宮西 1勝
 負 鴨志田 1敗
 HR 中村剛 1号 ブラゼル 1号
 盗塁 なし

(注5) Season4 に Stawka ・ぐっち両監督によるカードで一度「試合開始からわずか打者3人で雨天ノーゲーム」とか起こった実績があるだけに、このカードがまともに終わるか否かが第1節最大の懸念でした。1回戦から「打撃の20(珍プレイ好プレイ表)が5回も出た」とか言い出しやがったんで「頼む、今シーズンはポストシーズンもあるから、日程がきつくなる再試合とかやめてくれ」と祈っていましたよ。試合が流れなくて本当によかった……

★このカードの2回戦、史実30打席の阿部真宏に2打席目が回ったため、「144打席未満ルール」の初適用となりました。Season5は以下の判定法で統一しますので、各監督確認をお願いします。

「ダイスルールは1回のみ行い、選手本来のデータと、無名選手(同じ打席)の両方から同じ目の結果を出す。どちらの結果を採用するかは守備側が決定する。(例えばKとG6fのどちらにするかを、打者走力を見て決定して良い)」

★その他の試合 (6 試合) ★

PR vs BS @ 函館千代台球場

1 回戦													
BS	0	1	2	0	0	0	0	0	0				3
PR	2	1	0	0	0	0	0	1	×				4x
勝	前田	1勝	S	薮田	1S								
負	金子	1敗											
HR	なし												
盗塁	なし												
<p>お互い序盤に点を取り合ったあと、青木のスーパーキャッチが出た4回以降は前田・金子の両先発が同点のまま踏みとどまる展開。これを8回、糸井の二塁打から中田の犠飛で打開し、9回薮田が守りきった。</p>													

2 回戦													
BS	2	1	0	0	4	0	1	0	1				9
PR	0	1	0	0	0	1	1	0	0				3
勝	フィガロ	1勝											
負	福井	1敗											
HR	バレンティン	1号	ホフパワー	1号									
	稲葉	1号											
盗塁	なし												
<p>初回バレンティンが先発福井の平静を乱す右2ランで先制、その福井を引き継いだ中郷からもホフパワーが右翼上段へ3ランを、さらに稲葉の右ソロで試合を決めた。</p>													

RH vs Ys @ 松山坊っちゃんスタジアム

1 回戦													
Ys	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
RH	0	1	1	0	3	2	0	0	X				7
勝	吉見	1勝											
負	久保	1敗											
HR	阿部	1号	松中	1号									
盗塁	長野	1盗塁	松田	1盗塁									
<p>2回・3回到四球と失策で貯めたランナーを返し、4回阿部・5回松中の2発で久保を完全攻略した。吉見は長野に3安打を打たれるものの、その都度後続を切ってとって今シーズン完封勝利一番乗り。</p>													

2 回戦													
Ys	1	0	0	0	0	0	0	4	3				8
RH	0	0	0	0	0	0	0	0	1				1
勝	能見	1勝											
負	チェン	1敗											
HR	なし												
盗塁	長谷川	1盗塁											
<p>初回先頭の川崎を後続が着実に進めて取った1点を守り、8回に疲労の蓄積したチェンに襲いかかってダメ押し。9奪三振勝利の能見は最終回に3安打で1失点し、ノーマスとはいかなかった。</p>													

CD vs Dr @ QVC マリンフィールド

1 回戦													
Dr	1	0	0	0	0	0	0	0	1				2
CD	0	0	0	2	0	4	0	0	x				6
勝	田中	1勝											
負	杉内	1敗											
HR	浅村	1号											
盗塁	なし												
<p>田中は初回中村剛の中前適時打でいきなり失点するも、その後は立ち直り浅村に一発を喰らっただけの無四球の完投勝利。杉内は初回1点以外は無援で、6回に3四球から一気に崩れて打者一巡を許し力尽きた。</p>													

2 回戦 ※延長 12 回													
Dr	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	4
CD	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
勝	古川	1勝	S	高宮	1S								
負	ラズナー	1敗											
HR	なし												
盗塁	岡田	1盗塁											
<p>激しいシーソーゲームは9回阿部の適時打で決まったかと思っただが、その裏赤田が坂口を返して延長へ。9回以降両軍4人づつのリリーフをつぎ込んだ延長は、途中出場の高宮と大野の連打で勝負を決めた。</p>													

●チーム打撃成績●

	打率	HR	盗塁
Ys	.306	0	4
PR	.302	2	0
RH	.295	3	1
BS	.276	3	1
Dr	.264	2	1
CD	.220	1	0

●チーム投手成績●

	防御率	奪三振
CD	2.32	20
RH	3.54	18
Dr	3.64	17
Ys	3.71	23
BS	3.91	14
PR	5.00	21

●打者個人成績ランキング●

★★打率★★ (規定打席 [9.3] 以上)

	打率	打数	安打	
宮本慎也	PR	.636	11	7
平野恵一	CD	.455	11	5
糸井嘉男	PR	.455	11	5
松中信彦	RH	.444	9	4
青木宣親	BS	.429	14	6
相川亮二	Ys	.417	12	5
ラミレス	Ys	.385	13	5
田口壮	CD	.364	11	4
中村剛也	Dr	.364	11	4
ホフパワー	BS	.364	11	4

★★本塁打★★

	本塁打
11 選手	1

★★打点★★

	打点	
中田翔	PR	5
稲葉篤紀	BS	5
6 選手	3	

★★盗塁★★

	盗塁
7 選手	1

●投手個人成績ランキング●

★★防御率★★ (規定投球回数 [3] 以上)

	防御率	投球回数	自責点	
吉見一起	RH	0.00	9 回 0/3	0
能見篤史	Ys	1.00	9 回 0/3	1
田中将大	CD	2.00	9 回 0/3	2
和田毅	Dr	2.57	7 回 0/3	2
岩隈久志	CD	2.57	7 回 0/3	2
メッセンジャー	Ys	3.00	6 回 0/3	2
塩見貴洋	CD	3.00	6 回 0/3	2
フィガロ	BS	3.00	6 回 0/3	2
ホールトン	Dr	3.00	6 回 0/3	2
寺原隼人	BS	3.24	8 回 1/3	3

★★奪三振★★

	奪三振	
能見篤史	Ys	9
和田毅	Dr	7
田中将大	CD	6
前田健太	PR	6
ジオ	PR	6

※勝利数・セーブ数・ホールド数のランキングは第3号(第2節終了)以降に掲載予定

B. ビーンに捧ぐ、快心の一撃を生むチーム？

第1節終了後、GM 杯 Season5 コミッシヨナの佐野まさみから、リーグ戦の練習試合とポストシーズン前座試合・エキシビジョンに登場するチームの編成が発表された。そのチーム・クリティカルヒッツは6チームのドラフトから漏れた選手から、マネーボール理論に基づき選抜した32名で編成されている。[右に基本先発オーダー及び主要投手陣] 昨年の優勝チームをスポンサーとしたブルーチップ投信の資金サポートの元、西武ドームを本拠地として活動する。

CH BC さいたまクリティカルヒッツ

本拠地：西武ドーム

オーナー/監督：佐野まさみ (総合ランキング1位)
基本先発オーダー 主要投手陣

位置	選手	史実所属	選手	史実所属
8	栗山巧	西武	ダルビッシュ有	日本ハム
6	大引啓次	オリックス	西口文也	西武
D	ブランコ	中日	沢村拓一	巨人
7	広瀬純	広島	成瀬善久	ロッテ
5	バーデン	広島	館山昌平	ヤクルト
3	栗原健太	広島	武田勝	日本ハム
4	井口資仁	ロッテ	唐川侑己	ロッテ
2	嶋基宏	楽天	山口鉄也	巨人
9	スレッジ	横浜	許銘傑	西武